

『Mind Charging』

第 60 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 6 月 19 日

チャールズ・ケタリングの名言



Believe and act as if it were impossible to fail.

失敗なんてありえないと信じて、やってみるんだ。

簡単に真似できないほどのポジティブさを感じますが、彼らの功績も同じく簡単に真似できないことであり、自分の大きな目標を達成するためには専門的な知識も必要ですが、その知識を得るために努力を続ける『気持ちの強さ』が一番必要なのだと思います。逆に気持ちの面であれば、難しいものの真似できる難易度は下がります。ということは、『自分だってやればできる！』と思いませんか？

何の狙いもなく取り組んで失敗して、この言葉のように思うことや、変に堂々としているのは違うと思いますが、その失敗を教訓に新たなアプローチで再挑戦することで、失敗という結果が『データ収集』に変わるので、失敗を恐れずに分析しながら何度も果敢に挑戦していきましょうというメッセージだと思います。

そもそも、誰もが人間は完璧ではないことも、必ず失敗(ミス)をすることも知っているはずなのに、なぜ失敗を恐れるのでしょうか。もちろん『それによって人に迷惑をかける』ということもありますが、一番不安に陥る理由は失敗した時の“気まずさ”ではないでしょうか。気まずさを生む一番の原因は、『失敗＝悪』という考え方から感じる、周りの人からの“プレッシャー”だと思います。これでは委縮して失敗する可能性も上がりますし、挑戦することに躊躇してしまいますね。

私たちはこれからも何度も挑戦する瞬間を迎えると思います。人のあらを探すのではなく、『仲間の挑戦は自分の挑戦』と、仲間に寄り添う気持ちを持ち、仲間で見守りあうことで、挑戦する勇気がきっと湧き上がってくるはずですよ。人生は一度きりです。人生を充実させるのは自分の努力と仲間の存在が大きいはずですよ。素晴らしい経験と共に正智深谷高校で成長していきましょう！（編集委員：入試広報室 鈴木）

チャールズ・フランクリン・ケタリング(Charles Franklin Kettering、1876年8月29日 - 1958年11月24日もしくは11月25日)は、アメリカ合衆国オハイオ州ラウドンビル生まれの、農民、教員、メカニック、エンジニア、科学者、発明家、社会哲学者である。目が悪かったが、オハイオ州立大学で電気工学を専攻。1904年に卒業し、新しいアイデアというのはチームであればこそ進化させることができるとの考えを持ち、興味関心事にこれを広く適用した。(Wikipedia 参照)